



農家のあるある その2～農家の必需品軽トラ

好評の(?)あるあるシリーズ第二弾は、農家が最も使う農機具と言っても過言ではない軽トラ。くだもの農家になって最初に買う大道具は、おそらく軽トラだと思います。免許所有者4人で用途別に7台(!!)の軽トラを持つ農家の家族もいます(それとは別に乗用車も人数分所有)。軽トラはもはや車ではありません。狭い農道でもぬかるみ道もなんのその。ちょっと踏み外しても何人かで力を合わせればヨッコイショ!で戻ります。堆肥をまく、農薬を散布する、収穫する...運ぶものも脚立や竹などの長いものから、ブドウの杭や石など重いもの、泥だらけのものから生果や加工品などの商品まで。用途別に何台も欲しくなる理由、ご理解いただけますか?カノハタでも現在3台の軽トラが日々活躍していますが、このたび奮発して1台にウイング型のホクをつけました。これで荷物は雨の日も安心♪



念願のアリエッタ・デル・ジェラートさんへ♡

アリエッタさんは神奈川県秦野中井のジェラート屋さん。素材のひとつにカノハタのくだもの採用くださっています。何度も食べる機会をいただいています。が、お店に何うのは初めてでした。

明るく清潔な店内と柔らかい雰囲気のご夫婦。たくさん並んだメニューを見ると、どの種類も食べたくなり、食べる前からウキウキします。アリエッタさんのジェラートでなにが感動するかと言えば、くだものは姿を変え、もはやくだものではないのですが(ジェラートですから当然ですね^^)、その中にちゃんとそのくだもの



ARIETTA DEL GELATO
営業日などは左記インスタグラムでご確認ください

〒257-0012
神奈川県秦野市西大竹3-8

のがあるだけでなく、他の材料と相まってお互いがさらにおいしくなっているところです。ナッツやミルクなどくだもの以外のジェラートを食べてもそうです。きつと経験と技術によって調和が取れているんですね。Instagramには時折ジェラートへの熱い思いが語られ、プロとしての高い意識を感じます。こんな職人さんに使っていただき、カノハタのくだものは幸せです。休日でお忙し中、ありがとうございました。

みんな元気ですよ～

カノハタファミリーはというと、それぞれ元気にしております。長男は、中学生になり吹奏楽に入り、チューバにはまっています。細かい作業は今も好きで、具合の悪くなった台所水栓金具を説明書を読み交換してもらいました。野生のヤモリ(写真左)を見つけて可愛いからとしばらく飼っていました。次男は口にミカンの皮をはめて謎のボディパフォーマンスをしています。たまにカヌーやスケート、ボウリングをします。両親は痛いところがありながらも、山梨と横浜を往来しています。胃腸の弱い園主はグルテンフリー生活を始め、しばらくは調子が良かったのですが、最近では絶好調とはいかないようです。園主妻(筆者)は子供や自然や社会からいまだに新しい発見をもらい、日々楽しんでます。

新しく始めたことなど

いつもカノハタのくだものをお召し上がりいただき、ありがとうございます。いただいた温かいメッセージをこのカノハタ通信でお返しできればと思っております。さて、この一年どんなことが変わったかという、スタッフ山森さん(写真1-3)が加わったということでしょうか。愛称「まこちゃん」の趣味は歌うこと。休みの日には甲府の公園などで路上ライブもやっています。年末には仲間内を呼んで、畑で歌声を披露してもらいました。また、農機具のメンテナンス経験もあり、機械に弱いカノハタ園主に心強い味方ができました。畑が広がり、農繁期だけの人手では間に合わなくなってきたことが一番の理由ですが、これからは私たちのように新規で農業を始める人たちの道しるべのひとつになりたい、という気持ちもあります。田舎で暮らすことや農地を見つけないことなど、農業技術だけではまならない新規就農の壁を少しでも下げるお手伝いと思っています。また、柿の品種更新のためにつぎ木をしました(写真4-6)。柿8年と言いますが、つぎ木場合、すでにある根っこのおかげであっという間に地上部も広がります。ついでに2年後には柿も成らせられます。都会に比べるとかなりゆっくりに育ちますが、カノハタはこれからの進化していきます。引き続き支援助お願いいたします!



野生のヤモリ

長男中1/蛇口交換中

次男小3/サルのもまね中

浜名湖に大好きなウナギを食べに行きました